

令和 6 年度 教学マネジメントに関する FD・SD 研修

研修名

『『教学マネジメント指針』等を通じた学修者本位の教育への転換
～授業の到達目標・成績評価・学生からのアンケートなどを踏まえた授業改善の取り組みに向けて～』

主催

教学入試戦略推進本部

日時

令和 6 年 12 月 10 日（火）14 時 50 分～16 時 20 分

※令和 7 年 1 月 20 日（月）～1 月 29 日（水） 研修動画を学内教職員向けに限定公開

会場

和歌山大学栄谷キャンパス（対面開催）

参加者

当日参加者 48 名（うち教員 34 名、役職員 14 名）

後日動画視聴者 59 名（うち教員 45 名、職員 14 名）

研修の概要

前回 7 月の研修に引き続き、近畿大学 IR・教育支援センターの竹中喜一准教授に来学いただき、学内教職員を対象に、大学教育が「学修者本位」の観点から十分な効果を上げることができるようにするため、授業の到達目標・成績評価・学生からのアンケートなどを踏まえて授業改善に向けた取り組みを行うための研修を開催しました。

竹中先生からは「学修者本位の教育」の考え方や、成績評価レポートツール等による授業科目ごとの学修成果に関するデータの確認、成績評価の検証を通じた授業設計の見直しや課題分析の方法に加え、授業科目の改善に向けた課題について考察するために、授業評価アンケートや形成的データを活用する方法などについての説明があり、直接授業を担当する教員はもちろん、シラバスや成績評価の点検等に携わる職員にも役立つ内容となりました。

研修の様子



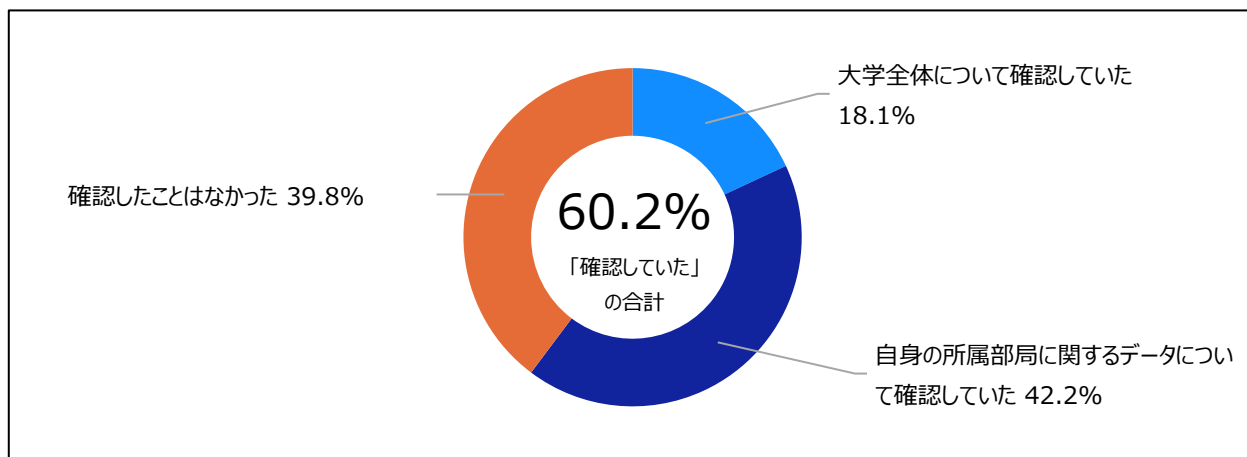
研修後アンケート結果（後日視聴者を含む）

回答率 75.0%（当日参加者・後日動画視聴者計 107 名中 83 名回答）

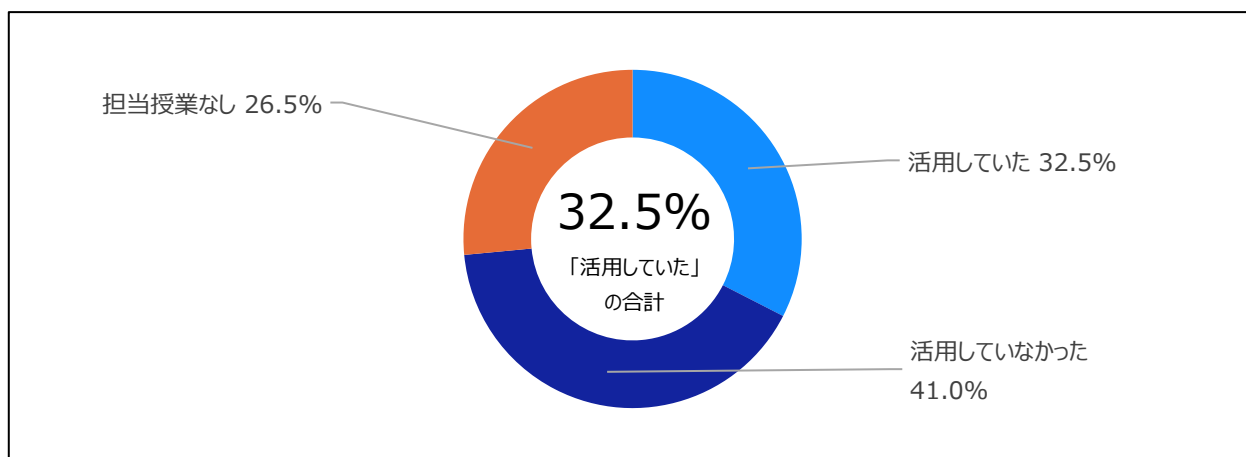
●回答者の属性

教員 62 名（うち後日視聴 36 名）、職員 21 名（うち後日視聴 11 名） 総計 83 名

●今まで e-annual report の授業評価アンケート結果等、和歌山大学で公開されている授業科目レベルのデータについて確認していましたか。



- 今まで e-annual report の授業評価アンケート結果等、和歌山大学で公開されている授業科目レベルのデータを各自の授業改善に活用していましたか。



- 今後各自の教育活動等を行うにあたって、今回の研修内容は参考になりましたか。

